

ベトナムにおいて小学校新校舎建設資金を寄付

各 位

JX日鉱日石開発株式会社(社長:平井 茂雄、以下「JX開発」と)とJX日鉱日石エネルギー株式会社(社長:一色誠一、以下「JXエネルギー」)は、ベトナム社会主義共和国バリア・ブンタウ省「グエン・チュン・ト小学校」の新校舎建設資金として、本年7月に地方政府に対し13万米ドル(約13百万円)を寄付し、今般同新校舎が竣工しましたので、お知らせいたします。

JXグループは、ベトナム各地の学校校舎や、枯葉剤の影響で身体に障害を持つ子供のリハビリセンターを建設する為の資金を寄付するなど、同国において様々な社会貢献活動に取り組んでまいりました。

今回12月14日(土)に同校で開催された新校舎竣工式には、JX開発から取締役常務執行役員 関野 誠が出席し、校舎竣工の祝辞を述べるとともに、学習用のノート等文具一式を贈呈しました。

また、本年は「日越友好年(日本ベトナム外交関係樹立40周年)」にあたり、年間を通して様々な記念事業が実施されており、今回の寄付も、本年1月に完成・寄贈したハイフォン市「グエン・ビン・キエム高校」の新校舎建設資金寄付と同様、「日越友好年」の公式事業として認定されております。

JX開発は、1992年にベトナム沖15-2鉱区の権益を取得して以来、オペレーターとしてランドン/フンドン油田にて石油・天然ガス開発事業を展開しており、同国を最重点事業エリアのひとつと位置づけております。

また、JXエネルギーは、1996年から同国における潤滑油事業を行っており、現在、ハイフォン市内に潤滑油製造工場を建設し、2013年度中の生産開始を目指しております。

JX開発およびJXエネルギーは、JXグループが経営理念に掲げる行動指針「社会との共生」をベトナムにおいても実践するべく、今後も積極的に社会貢献活動を実施してまいります。



新校舎竣工式の様子

● 別添資料

 [ベトナムにおける主な建設資金寄付実績](#) (PDF:220.2 KB)